

プリンタケーブル延長器

LEX-12

ユーザーズ ガイド

User's Guide

ランド周辺機器装置



◆ 御 注 意 ◆

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本品は、十分な注意のもとに、放出電波が最小になるよう設計してありますが、電波や電磁波に敏感な機器(例えば、テレビ、ラジオ、マイコンを使った機器など)が近くにあると、ノイズ、誤動作等の影響を与えることがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一御不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、弊社または御購入になられた販売店までご連絡下さい。
4. 文中のイラストは、実際の製品と異なる場合があります。
5. 記載事項には、各社の登録商標も含まれております。
6. 本製品の使用・不使用により、万一損害が生じた場合のいかなる請求に関しても、一切その責を負いかねます。

この度は、プリンタケーブル延長器をお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。

商品が届きましたら、まずお届けしている商品の内容を『パッケージ内容』にてご確認ください。

その上で本システムを最大限にご活用いただけるよう、本書ユーザーズガイドをご利用ください。

LAND *computer*

必ずお読み下さい

製品を安全にご使用いただくために

ここでは、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危害及び財産の損害を未然に防ぐための説明を記載しています。製品使用者は必ず本書を読んだ後、内容をよく理解した上で製品を正しく使用してください。

本書は読み終わったあとも、必ずいつでも見られる場所に保管しておいて下さい。

表示について

文中の絵表示には次の様な意味があります。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

表示の例

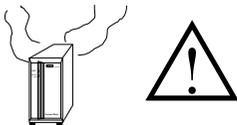
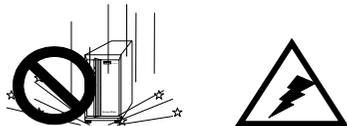
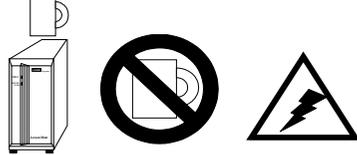


△記号は注意・警告を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意の内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

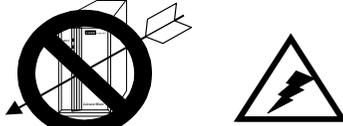


⊘記号は禁止の行為を告げるものです。
図の中や近辺に具体的な禁止の内容（左図の場合は分解禁止）

警告

	<p>万一、本体から異音・異臭・煙がでているなどの状態がある場合、<u>すぐに本体のスイッチをきり、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</u>この様な状態で使用すると、<u>火災・感電の原因</u>となります。煙がでなくなるのを確認し、当社または販売店に連絡し、修理をご依頼ください。お客様による修理は危険を伴いますので絶対におやめください。</p>
	<p>万一内部に水などが入った場合は、<u>まず本体電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社または販売店にご連絡ください。</u>そのまま使用しますと、<u>火災・感電の原因</u>となります。</p>
	<p>万一異物が内部に入った場合は、<u>まず本体電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社または販売店に連絡してください。</u>そのまま使用しますと、<u>火災・感電の原因</u>となります。</p>
	<p>本体を落とした場合や破損した場合は、<u>スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて当社または販売店にご連絡ください。</u>そのまま使用しますと<u>火災、感電の原因</u>となります。</p>
	<p>本体の分解・改造・お客様での修理は絶対におやめください。感電の原因となります。整備・点検は当社または販売店にご依頼ください。</p>
	<p>本体の上に花瓶・コップ・薬品や水の入った容器または小さな金属物置かないでください。容器の中の物がこぼれたり、機器のなかに入ると<u>火災、感電の原因</u>となります。</p>
	<p>ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、<u>けがの原因</u>となります。</p>

 警告

	<p>範囲外の電源電圧（交流 100V±10%の範囲外）で使用しないでください。火災、感電の原因となります。</p>
	<p>本体の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、押し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。</p>
	<p>電源コードの上に重い物をのせたり、コードがディスプレイ等の下敷きにならないようお気をつけください。コードに傷がつき火災、感電の原因となります。</p>
	<p>電源コードが傷んだら当社または販売店にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたりねじったり引っ張ったり加熱したりしないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。</p>
	<p>水気の多い場所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。</p>
	<p>雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。</p>



注意

  	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
  	湯煙や、湯気が当たるような場所（加湿器のそばなど）に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
  	本体の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
 	本体の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
  	電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶け、火災、感電の原因となることがあります。
  	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ず電源プラグをもって抜いてください。
  	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
  	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルなどを外した上でおこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



注意



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。



長期間を使用しない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



1年に一度くらいは内部の掃除を当社または販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使っていると火災、故障の原因となることがあります。なお、掃除費用については当社または販売店などにご相談ください。

製品を安全にご使用いただくために

目 次

1	製品概要.....	1
1-1	概要.....	1
1-2	対応機種.....	2
1-3	パッケージ内容.....	3
1-4	製品仕様.....	3
2	各部名称と機能.....	5
3	ディップスイッチの設定.....	7
3-1	対応機種別ディップスイッチ設定表.....	8
4	接続方法.....	13
4-1	接続手順.....	13
4-1-1	単独で接続する場合（14m 以内）.....	13
4-1-2	2 台で接続する場合（14m 以上、50m 以内）.....	13
4-2	接続例.....	14
4-2-1	LEX-12 の基本的な接続.....	14
4-2-2	当社製プリンタ切換器を使用する場合の接続.....	14
5	簡単なトラブルシューティング.....	17
	仕様.....	19

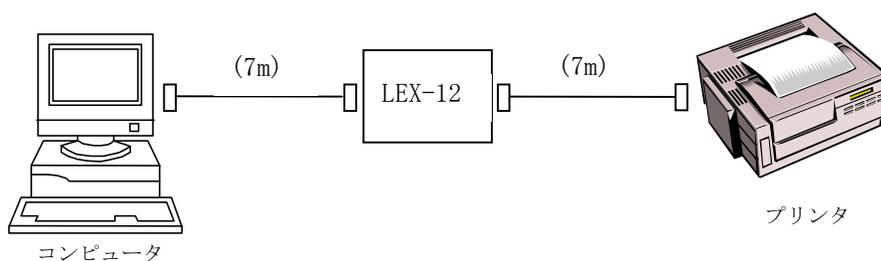
1 製品概要

1-1 概要

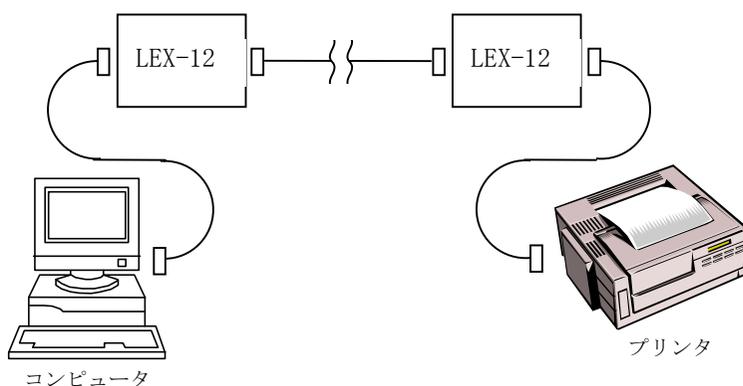
本製品は、セントロニクス仕様のプリンタケーブルを、ノイズや電圧の影響を受けることなく延長させることができます。

通常のプリンタケーブルでは、ノイズや電圧等の関係で7～8m以上に延長することは困難でしたが、このプリンタケーブル延長器を接続することにより、信号の減衰を防ぎ、ノイズを低減して、コンピュータ～プリンタ間の距離を単独使用の場合には14メートル、2台で使用する場合には50メートル程度まで延長することが可能になります。

単独で使用する場合（14m以内）



2台で使用する場合（50m以内）



製品概要

1-2 対応機種

本製品は、対応機種毎に、ディップスイッチの設定が異なりますので、ディップスイッチの設定別に5つのグループに分類しております。

対応機種は、このグループ別に次の通りです。

グループ①

NEC	PC-98 シリーズ・システム 7200/3100・N5200・文豪
EPSON	PC-286/386/486
日立	2020/2050/3050・B16/B32・elles・ワードパル
リコー	Mr. マイツール・リポート
東芝	トスワード・ルポ
シャープ	X68000
その他	標準的なセントロニクス準拠の機種

グループ②

富士通	FMR・FM-TOWNS・ファコム 9450・FM G・K・OASYS
松下	パナコム M・パナコム M オペレート・パナワード
PFU	C280/285/380/385
シャープ	書院

グループ③

IBM	PS/V・PS/2・PC/AT
富士通	FMV
松下	パナコム V
東芝	J-3100/3300
日立	FLORA
その他	各社 PC/AT 互換機・AX パソコン 全ての DOS/V 対応機種

グループ④

IBM	PS/55 (16 ビット機)
リコー	PS (16 ビット機)

グループ⑤

IBM	PS/55 (32 ビット機)
リコー	PS (32 ビット機)

双方向プリンタの記述

1-3 パッケージ内容

型番	数量	内容
LEX-12	1	プリンタ延長器本体
———	1	ユーザズガイド (本書)
———	1	検査表

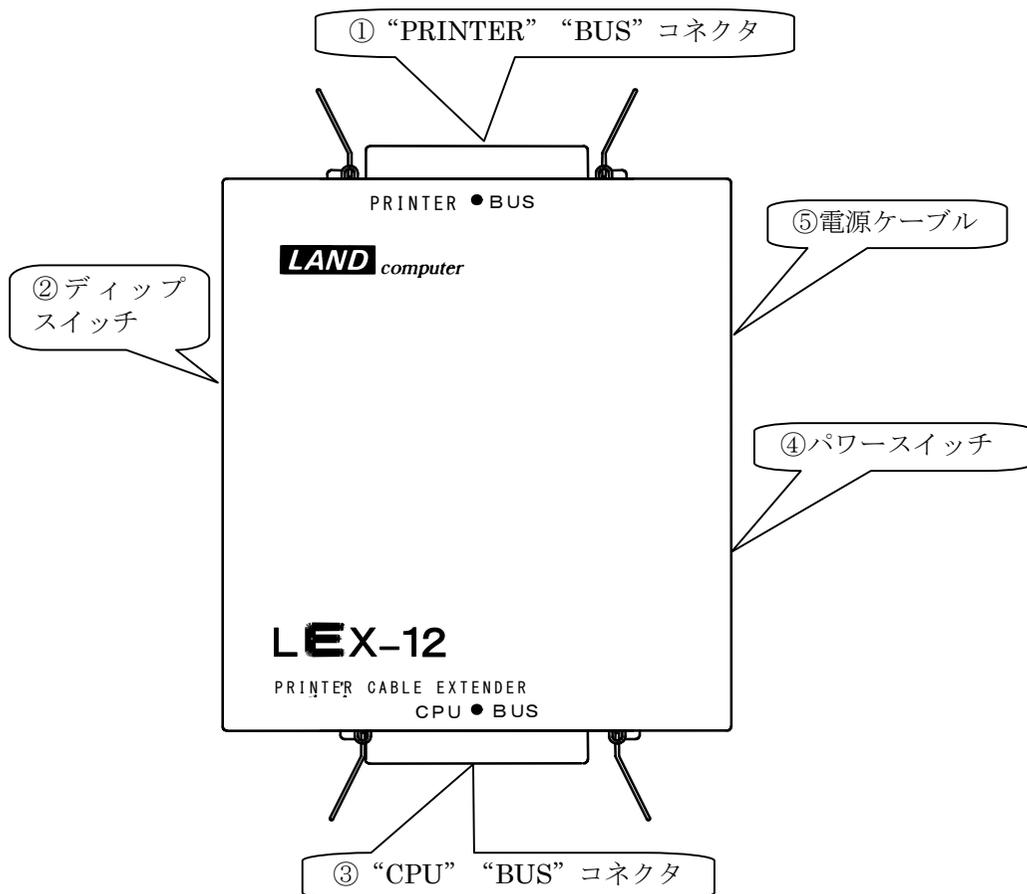
1-4 製品仕様

インターフェイス	セントロニクス仕様準拠
接続コネクタ	アンフェノール 36 ピン メスコネクタ 2 口
電源	AC100V±10% 50/60Hz
消費電力	6W以下
外形寸法	110 (W) × 51 (H) × 130 (D) [mm] (但し突起部を除く)
重量	約 600g
使用環境	温度：0～+40℃ 湿度：10～90%RH (但し結露なきこと)

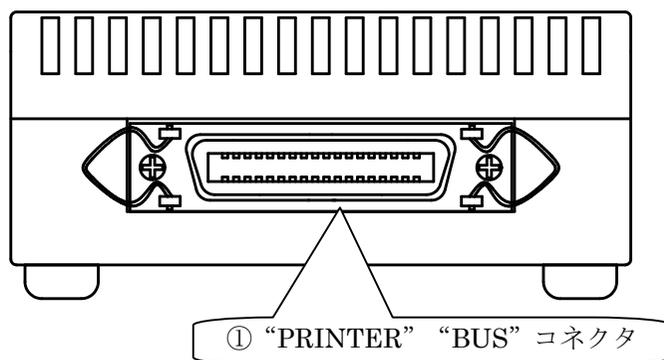
※ 本製品の仕様、デザイン等は、改良のため予告なく変更することがあります。

2 各部名称と機能

前面部

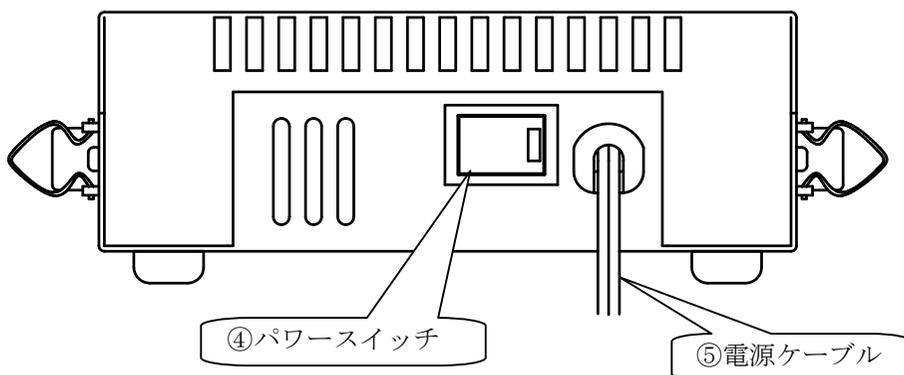


上側面部

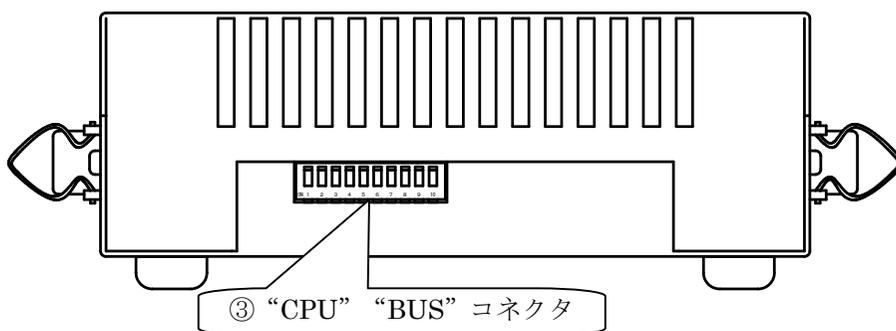


各部名称と機能

右側面部



左側面部



- | | |
|--------------------------|--|
| ① “PRINTER” ・ “BUS” コネクタ | プリンタまたは LEX-12 間の接続ケーブルを接続するコネクタです。 |
| ② ディップスイッチ | 接続するコンピュータプリンタインターフェイスのピンチャートに合わせて設定を行うスイッチです。 |
| ③ “CPU” ・ “BUS” コネクタ | コンピュータまたは LEX-12 間の接続ケーブルを接続するコネクタです。 |
| ④ パワースイッチ | LEX-12 本体に電源を供給するスイッチです。電源ケーブル側に倒した時が “ON” です。 |
| ⑤ 電源ケーブル | 電源は家庭用コンセント (AC100V) から取ってください。 |

3 ディップスイッチの設定

本製品のご使用にあたり、各コンピュータの機種に適応するようにディップスイッチ（DSW と表示）を設定する必要があります。

DSW の出荷時の設定は、“対応機種グループ①” の設定になっております。

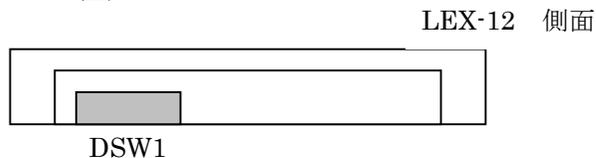
- グループ①以外の機種をご使用の場合
接続される前に、次頁の“ディップスイッチ設定表”を参考にされて、ディップスイッチを正しく設定してください。
- グループ①の機種をご使用の場合
接続される前に、ディップスイッチが正しく設定されているかどうかをご確認ください。

尚、ディップスイッチの内容については巻末の「APPENDIX」に記載されていますので必要に応じてご覧ください。

※ ディップスイッチ設定上のご注意

- ① ディップスイッチの設定は電源“OFF”の時に行ってください。
- ② ディップスイッチは上げた状態が OFF、下げた状態が ON となりますので間違えないように設定を行ってください。

<ディップスイッチの位置>



ディップスイッチの設定

3-1 対応機種別ディップスイッチ設定表

接続の前にディップスイッチが正しく設定されているかご確認ください。
 対応機種別のディップスイッチの設定は以下の通りです。

※ ディップスイッチ（DSW）は左から DSW1-1、1-2、1-3…1-8、1-9 になります。

対応機種別（グループ別）設定表 （1）

グループ①	
NEC	PC-98 シリーズ・システム 7200/3100・N5200・文豪
EPSON	PC-286/386/486
日立	2020/2050/3050/・B16/B32・elles・ワードパル
リコー	Mr. マイツール・リポート
東芝	トスワード・ルポ
シャープ	X68000
その他	標準的なセントロニクス準拠の機種

LEX-12 がコンピュータ側にある場合、及び単独で使用する場合

D S W 1									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF

ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

LEX-12 がプリンタ側にある場合

D S W 1									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON

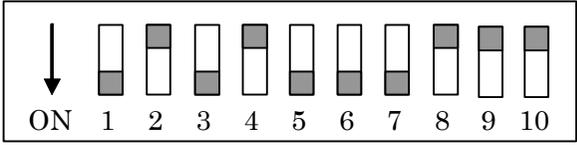
ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

対応機種別（グループ別）設定表 (2)

グループ②	
富士通	FMR・FM-TOWNS・ファコム 9450・FM G・K・OASYS
松下	パナコム M・パナコム M オペレート・パナワード
PFU	C280/285/380/385
シャープ	書院

LEX-12 がコンピュータ側にある場合、及び単独で使用する場合

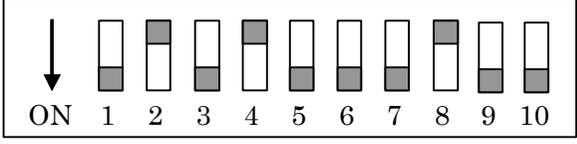
D S W 1									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF



ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

LEX-12 がプリンタ側にある場合

D S W 1									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF	ON	ON



ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

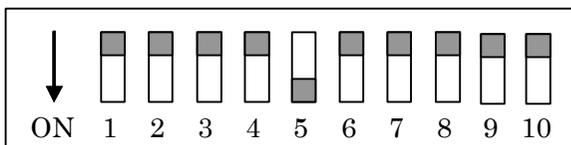
ディップスイッチの設定

対応機種別（グループ別）設定表 （3）

グループ③	
IBM	PS/V・PS/2・PC/AT
富士通	FMV
松下	パナコム V
東芝	J-3100/3300
日立	FLORA
その他	各社 PC/AT 互換機・AX パソコン 全ての DOS/V 対応機種

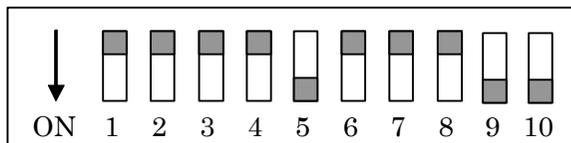
LEX-12 がコンピュータ側にある場合、及び単独で使用する場合

D S W 1									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

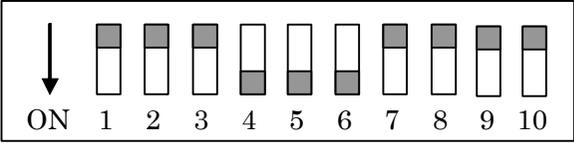
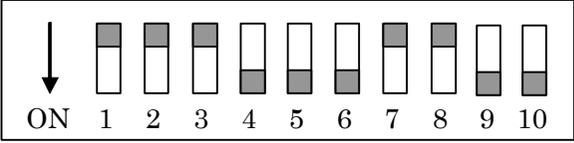


LEX-12 がプリンタ側にある場合

D S W 1									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	ON



対応機種別（グループ別）設定表 （4）

グループ④									
IBM	PS/55（16ビット機）								
リコー	PS（16ビット機）								
LEX-12 がコンピュータ側にある場合、及び単独で使用する場合									
D S W 1									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
									
LEX-12 がプリンタ側にある場合									
D S W 1									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON
									

ディップスイッチの設定

対応機種別（グループ別）設定表 （5）

グループ⑤	
IBM	PS/55（32ビット機）
リコー	PS（32ビット機）

LEX-12 がコンピュータ側にある場合、及び単独で使用する場合

D S W 1									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ON	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF

ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

LEX-12 がプリンタ側にある場合

D S W 1									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ON	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON

ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

4 接続方法

「3 ディップスイッチの設定」によって設定状態をご確認の上、「4-2 接続例」を参考に
して、機器の接続を行ってください。

機器の接続を行う時は、コンピュータ本体及び周辺機器の電源はすべて
“OFF” にしてください。

4-1 接続手順

4-1-1 単独で接続する場合（14m 以内）

- ① LEX-12 とコンピュータを接続します。
コンピュータ側の「プリンタコネクタ」と、LEX-12 の「CPU コネクタ」（CPU・BUS
と表示）をコンピュータメーカー提供のプリンタケーブルで接続してください。
- ② LEX-12 とプリンタを接続します。
プリンタと LEX-12 の「PRINTER コネクタ」（PRINTER・BUS と表示）を、オプシ
ョンの接続ケーブルで接続してください。
- ③ LEX-12 の電源ケーブルを、接続します。
LEX-12 の電源ケーブルを、家庭用 AC コンセント（AC100V）に接続してください。
パワースイッチを ON にするとパワースイッチ上の赤色のランプが点灯し、使用可能の
状態になります。

4-1-2 2 台で接続する場合（14m 以上、50m 以内）

- ① 1 台目の LEX-12 とコンピュータを接続します。
コンピュータ側の「プリンタコネクタ」と、1 台目の LEX-12 の「CPU コネクタ」（CPU・
BUS と表示）をコンピュータメーカー提供のプリンタケーブルで接続してください。
- ② 2 台目の LEX-12 とプリンタを接続します。
プリンタと 2 台目の LEX-12 の「PRINTER コネクタ」（PRINTER・BUS と表示）を、
オプションの接続ケーブルで接続してください。
- ③ 1 台目の LEX-12 と 2 台目の LEX-12 を接続します。
1 台目の LEX-12 の「PRINTER コネクタ」（PRINTER・BUS と表示）と、2 台目の
LEX-12 の「CPU コネクタ」（CPU・BUS と表示）を、オプションの延長ケーブルで
接続してください。
- ④ LEX-12 の電源ケーブルを、接続します。
LEX-12 の電源ケーブルを、家庭用 AC コンセント（AC100V）に接続してください。
パワースイッチを ON にするとパワースイッチ上の赤色のランプが点灯し、使用可能の
状態になります。

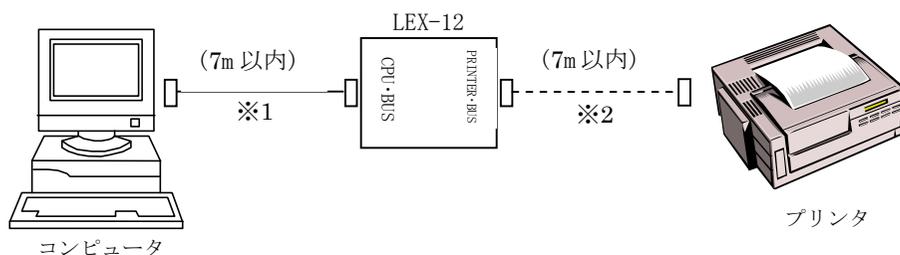
※ AC100V 以外の電源（100V を超える電源や直流）では絶対に使用しないでください。

接続方法

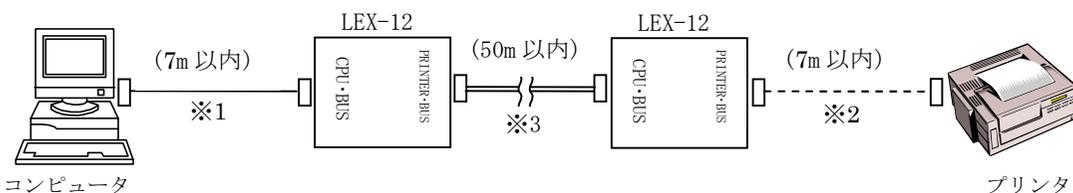
4-2 接続例

4-2-1 LEX-12 の基本的な接続

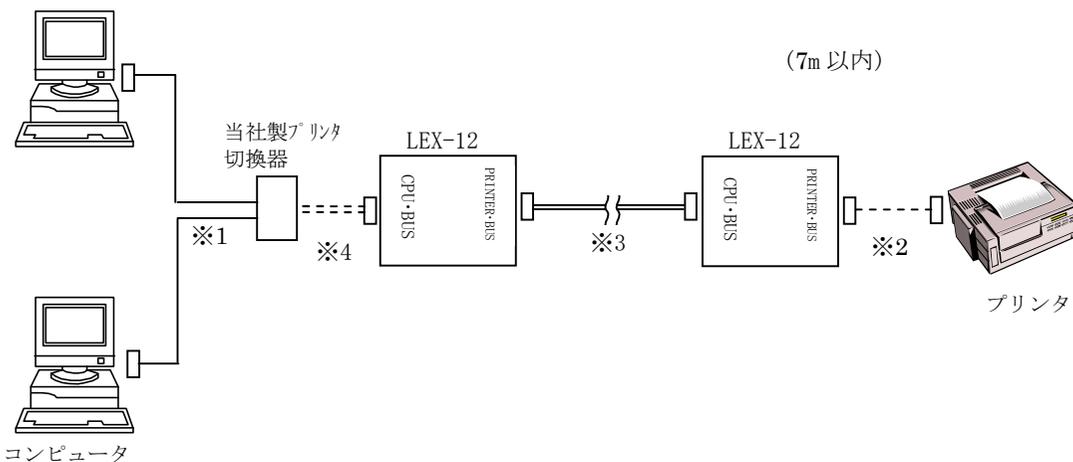
- 単独で使用する場合（7m+7m → 14m 以内）



- 2台で使用する場合（LEX-12～LEX-12間 → 50m 以内）



4-2-2 当社製プリンタ切換器を使用する場合の接続



- ※1—— コンピュータメーカーが提供するケーブル、または当社オプションケーブルをご使用ください。（注1）
- ※2----当社推奨のケーブルをご使用ください。（注1、2）
- ※3—— 当社製の延長ケーブルをご使用ください。（営業部にご相談ください。）
- ※4====切換器に付属のケーブル、またはオプションをご使用ください。

注1、ケーブルが短い場合

コンピュータメーカーや当社が提供するケーブルでは、“LEX-12 ~ CPU”間、または、“LEX-12 ~ プリンタ”間が短い場合は、当社が提供する、次のオプション延長ケーブルをご利用ください。

“LC-500F (36Pin アンフェノール オス—メス 5m)” または

“LC-300F (36Pin アンフェノール オス—メス 3m)”

(LEX-12 と CPU、または LEX-12 とプリンタ間は、上記の延長ケーブルと合わせて、7m以内であれば接続できます。)

注2、「互換プリンタ」をご使用の場合

キャノン、カシオ、リコーなどの「互換プリンタ」では、プリンタと LEX-12 間には、特に当社推奨のケーブルをご使用ください。

この場合は、営業部またはサポート部までご相談ください。

5 簡単なトラブルシューティング

正常に動作しないとき、修理をご依頼になる前に以下の点をご確認ください。

文字化け、文字抜けが生じる

- ▶ 各コネクタの接続は、完全におこなわれていますか？
- ▶ ディップスイッチの設定は正しくおこなわれていますか？
 - ✓ LEX-12 を 2 台でご使用の場合は 2 台とも正しくディップスイッチが設定されていますか？
「3-1 対応機種別ディップスイッチ設定表」及び「APPENDIX」をご参考に、正しく設定してください。
- ▶ コンピュータとプリンタとの対応は、正しくおこなわれていますか？
 - ✓ コンピュータ及びプリンタの設定を確認してください。

1 文字も印字しない

- ▶ LEX-12 やプリンタの電源は入っていますか？
- ▶ 各コネクタの接続は、完全におこなわれていますか？
- ▶ ディップスイッチの設定は正しくおこなわれていますか？
 - ✓ 「3-1 対応機種別ディップスイッチ設定表」及び「APPENDIX」をご参考に、正しく設定してください。

※ 上記のいずれを点検しても正常に印字しない場合は、お手数ですが、コンピュータとプリンタを直結して印字がおこなわれるかチェックしてください。この時も印字しなければ、コンピュータ又はプリンタの故障が考えられます。
直結で正常に印字する場合は、LEX-12 の故障が考えられますので、当社サポート部までご連絡ください。

仕様

ここでは、「LEX-12」のピンチャートと各ディップスイッチの内容を説明します。
参考としてご覧ください。

◆ ピンチャート表

PIN No.	信号名	信号方向 (C-P)	PIN No.	信号名	信号方向 (C-P)
1	STB	→	19	GND	
2	D0	→	20	GND	
3	D1	→	21	GND	
4	D2	→	22	GND	
5	D3	→	23	GND	
6	D4	→	24	GND	
7	D5	→	25	GND	
8	D6	→	26	GND	
9	D7	→	27	GND	
10	ACK	←	28	GND	
11	BUSY	←	29	GND	
12	PE	←	30	*1	←
13	SLCT	←	31	*2	↔
14	*2	↔	32	*1	←
15	*1	←	33	*2	↔
16	GND		34	*2	↔
17	NC		35	*1	←
18	*3		36	*2	↔

※ 表の“(C-P)”は(CPU-PRINTER)を表示します。

*1 コンピュータの機種により信号名が異なります。

*2 コンピュータの機種により信号名、信号方向が異なります。

*3 信号方向にかかわらず、18番ピンの信号名が“+5V”か“IRT”又は“NC”かによって、設定が異なります。

注意：信号方向が(“←”または“→”)で明記されているピンは矢印方向に固定されています。

“↔”のピンは「LEX-12」のディップスイッチの設定により、信号方向を変更することが出来ます。(ディップスイッチの内容参照)

仕様

◆ ディップスイッチの内容

ここでは、各ディップスイッチのもつ意味を説明します。
コンピュータ及びプリンタのマニュアルにある『インターフェイス信号』に関する項目と併せてご覧下さい。

ディップスイッチの設定は、ピン番号“14、31、33、34、36”では信号方向に応じて、“18番”では信号名に応じて行います。

尚、ディップスイッチは下げた状態（↓）が“ON”、上げた状態（↑）が“OFF”になります。

◆ ディップスイッチの機能

- ディップスイッチ 1-1（36番ピンの信号方向を設定）
36番ピンの信号方向に応じて“ON/OFF”を設定します。
尚、信号名はコンピュータの機種により異なります。

信号方向	DSW 1-1
CPU → PRINTER	OFF
CPU ← PRINTER	ON

- ディップスイッチ 1-2（34番ピンの信号方向を設定）
34番ピンの信号方向に応じて“ON/OFF”を設定します。
尚、信号名はコンピュータの機種により異なります。

信号方向	DSW 1-2
CPU → PRINTER	OFF
CPU ← PRINTER	ON

- ディップスイッチ 1-3（33番ピンの信号方向を設定）
33番ピンの信号方向に応じて“ON/OFF”を設定します。
尚、信号名はコンピュータの機種により異なります。

信号方向	DSW 1-3
CPU → PRINTER	OFF
CPU ← PRINTER	ON

- ディップスイッチ 1-4（31番ピンの信号方向を設定）
31番ピンの信号方向に応じて“ON/OFF”を設定します。
尚、信号名はコンピュータの機種により異なります。

信号方向	DSW 1-4
CPU → PRINTER	OFF
CPU ← PRINTER	ON

- ディップスイッチ 1－5（15 番ピンの信号方向を設定）
15 番ピンの信号方向に応じて “ON/OFF” を設定します。
尚、信号名はコンピュータの機種により異なります。

信号方向	DSW 1－5
CPU → PRINTER	OFF
CPU ← PRINTER	ON

- ディップスイッチ 1－6（14 番ピンの信号方向を設定）
14 番ピンの信号方向に応じて “ON/OFF” を設定します。
尚、信号名はコンピュータの機種により異なります。

信号方向	DSW 1－6
CPU → PRINTER	OFF
CPU ← PRINTER	ON

- ディップスイッチ 1－7（18 番ピンの信号名（+5V、IRT、NC）に応じて ON/OFF を設定）
18 番ピンの信号名（+5V、IRT、NC）に応じて “ON/OFF” を設定します。

信号方向	DSW 1－7
NC、IRT	OFF
+5V	ON

- ディップスイッチ 1－8
未使用です。初期値のままをご使用ください。
- ディップスイッチ 1－9、10
2 台で使用する場合に、コンピュータ側の設定とプリンタ側の設定をおこないます。

ランド周辺機器装置

◇ <LEX-12 ユーザーズガイド> ◇

平成 8年 2月 初 版 発行

発行所： **株式会社ランドコンピュータ**

Printed In Japan

サポート部 (050) 3365 - 6749

(0120) 161639 (フリーダイヤル)

オンライン受付：http://www.landcomp.co.jp/support/rep_guide.htm

E-mail：support@landcomp.co.jp

< 本 社 > 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 7-4-17 新大阪上野東洋ビル

TEL 050(3365)6750 (OCN) FAX 06(6307)2121

< 熊本テクニカルセンター >

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原

テクノリサーチパーク内

TEL 050(3365)6747 (OCN) FAX 096(286)9342

サポート体制と修理サービス

ランドコンピュータでは、お客様に当社製品を安心してご使用していただくために、サポート体制の充実を図っております。
製品の接続や操作方法についてのご質問や、万一、製品が正常に作動しない場合は、下記のサポート部までお問い合わせ下さい。

サポート部へのお問い合わせは

1. オンライン受付：

http://www.landcomp.co.jp/support/rep_guide.htm

2. E - M a i l：

support@landcomp.co.jp

3. F A X：

096-286-9342

受付時間：24時間

4. I P 電話：

050-3365-6749 (OCNのみ無料)

受付時間： 9：00～12：00

13：00～17：30 (土曜日・日曜・祝日を除く)

5. フリーダイヤル：

0120-161639 (PHS、携帯からもかかります)

受付時間： 9：00～12：00

13：00～17：30 (土曜日・日曜・祝日を除く)

◎当社に修理サービスをご依頼の際のお願い

まず、上記サポート部にご連絡下さい。担当者より、修理受付番号と修理品返送先を記載した「修理受付連絡書」をFAXでお知らせいたします。

ご返送いただく製品の外箱に「修理受付番号」及び「修理品」と明記の上、保証書を添付して修理品返送先にご返送下さい。

修理受付番号のないものは処理しかねる場合もございますので、ご了承下さい。

株式会社 **ランド コンピュータ**